

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	園芸学専攻		
科目名称 [英語名称]	資源植物生産学特別実験 [Resource plant production science special experiment]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	631204	授業形態	実験	単位数	12	配当学年	1-2年次
教員氏名	廣瀬 大介			学位授与の方針 との関連	DP1, DP2		
授業概要	修士論文作成に必要な実験手法を学ぶ。特に、酵素の分析方法のように素早く、的確におこなう必要がある実験方法について学び、このことにより単に実験方法を会得するだけでなく、同時多発的に発生する種々な物事を的確に判断して処理する方法をも学びます【知識・技能の育成】【人間力の育成】。						
関連する科目	資源植物生産学特論Ⅰ、Ⅱ、資源植物生産学特別演習Ⅰ、Ⅱを受講することが望ましい。						
授業の進め方と方法	毎回、教員の見本をもとに自発的に実験を進めていきます。なお、教員は必要に応じてアドバイスを与えます。						
授業計画	<p>第1回目 授業のガイダンス</p> <p>第2回目～第5回目 成分分析Ⅰ(植物体の全窒素、アンモニア態窒素および硝酸態窒素分析)</p> <p>第6回目～第10回目 成分分析Ⅱ(土壌中の可給態全窒素、可給態アンモニア態窒素および可給態硝酸態窒素分析)</p> <p>第11回目～第15回目 成分分析Ⅲ(硝酸還元酵素とグルタミン合成酵素活性測定)</p> <p>第16回目～第20回目 成分分析Ⅳ(酒造適正分析)</p> <p>第21回目～第25回目 形態調査(根長および根系の構造と分布様相の測定)</p> <p>第26回目～第30回目 複合試験(根の吸水力と根長との関係の調査)</p> <p>作物の体内成分分析方法について学びます。また、同時多発的に発生する種々な物事を的確に判断して処理する方法をも併せて学びます。授業時間:2年間で360時間</p>						
授業の到達目標	毎回、教授された実験方法を理解すると共に複数の問題が生じた場合の迅速な処理方法を理解することを目標としています。						
授業時間外の学修	予習:各自で関連する文献を勉強してください。復習:次回のために指導された内容への対応を考えてください。 予習:1時間、復習:1時間						
課題に対する フィードバック	毎回、授業後に実験結果について講評します。	評価方法		受講態度(50点)、実験結果の内容(50点)			
テキスト	毎回、資料を配布します。						
参考書	土壌養分分析法 新農学実験マニュアル						
備考							